

令和3年度 すこやかメールマガジン 第744号【災害への備え、万全ですか？】

6月24日配信

みなさんこんにちは、【 T 】です。先日、当センターの研修事業の最中に、スマートフォンのアラームが一斉に鳴り出しました。何かと思ったら、その日は朝から大雨が降り続いており、近隣の河川に関する災害情報を知らせるものでした。

本県は、東日本大震災で甚大な被害が出たほか、平成28年には台風10号による豪雨災害など、自然災害による被害も多く発生しています。いざ！という時の準備、大丈夫でしょうか。今号は、日本気象協会「トクする！防災」のサイトから、避難の心得をご紹介します。もう一度、ご家庭や職場で確認しておきましょう。

【日本気象協会「トクする！防災」】

こちら→<https://tokusuru-bosai.jp/index.html>

避難情報の種類には、緊急性の低いものから順に「避難準備・高齢者避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」があります。夜間の避難は非常に危険なので、明るいうちに避難ができるよう準備をしておきましょう。

避難場所については、安全に避難ができるようハザードマップの確認、避難場所までのルートが浸水区域内かどうかを確認しておくことが重要です。水害などの避難の場合は、屋外への避難と、屋内への避難（近隣の頑丈な建物、自宅の2階等）も検討してください。

ちなみに、「避難場所」と「避難所」の違いは、避難場所は大きな広場や公園で、一時的に避難する場所で飲料水や食料の備蓄等はありません。避難所は小・中学校などで、一定期間滞在することができる施設となっています。

文部科学省の調査で、全国の公立幼稚園、小中学校の3割（1万1175校）が豪雨などの際に浸水や土砂災害の恐れがある区域にあることがわかりました。東日本大震災以降、地震への備えは進んできましたが、今後は水害・土砂災害への備えも進めていく必要があります。

改めて、ご家庭や職場で災害への備え、確認してみたいかがでしょうか。

子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★